

当院で行う検査のご案内

	こんな症状はありませんか？	この検査でわかること
純音聴力検査	・聞こえにくい ・聞き返が多い ・会話が聞き取りにくい ・テレビの音が大きい	難聴の有無、程度、種類を調べます。 難聴には感音難聴・伝音難聴・混合性難聴があります。
ティンパノメトリー	・耳の詰まり感(耳閉感) ・ボワツとする感じ ・難聴	鼓膜の動きを調べます。 鼓膜の奥に滲出液が溜まっていないか、量や程度を調べることが出来ます。
耳小骨筋反射	・顔面神経麻痺(瞼が閉じない・顔の痺れ・口から水がこぼれる) ・突発的な難聴(交通事故・爆発音などによるもの) ・難聴	顔面神経麻痺の診断や、難聴の原因を調べます。
語音聴力検査	・音は聞こえるが言葉が分かりにくい ・早口や騒がしい場所だと聞き取りにくい	「言葉」をどの程度正確に聞き取れているかを調べます。
耳鳴検査	・「キーン」「ピー」などの高い音が聞こえる ・「ボー」「ザー」などの低い音が聞こえる	耳鳴りの音の高さや大きさを測定し耳鳴の程度を評価します。
耳管機能検査	・耳のつまり感(耳閉感) ・自分の声が響く ・飛行機に乗った時の様な耳閉感 ・音を聞くと耳の奥がブツツとする	耳と鼻をつなぐ「耳管」の開閉機能(換気・圧調整)を調べることが出来ます。
重心動揺検査	・めまい ・ふらつき ・まっすぐ歩けない	めまい・ふらつきの原因が耳(内耳)か脳か調べます。 立ったまま行う簡単な検査です。
CT 検査 (副鼻腔・耳)	(副鼻腔) ・粘り気のある黄色または緑色の鼻水 ・頑固な鼻づまり、鼻閉 ・鼻呼吸がしにくい	鼻や耳の骨・粘膜を3次元の断面図で撮影し、病気の場所や状態を確認します。 当院の CT 検査は被ばく量が少ないため健康上の問題はなく、お子さまも受けていただけます。